

校長室だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/maruyamadai/>

「先輩の姿から学ぶ」～第1回文化祭合唱コンクール～

校長 藤 至光

3年生の合唱は、どのクラスも圧巻でした。3年生が歌っている顔を見ていると、皆『ゾーン』に入っているようにも思えました。それは、マスク着用で顔全体の表情を見ることができないなかでも、指揮者を見つめる目力を感じるとともに、自然と身体が揺れ動いて歌っているその姿に、心から合唱に入り込んでいるということを感じたからです。クラスが一つになった本気の合唱に鳥肌が立ち、涙がこぼれそうになるほど感動した自分がいました。最上級生として大きな足跡を残してくれたことに「やはり3年生は、カッコいい！」と思わずにはられません。

そして、その3年生の心に火をつけたのは、間違いなく2年生の合唱でした。どのクラスも曲想をとらえた表現を工夫していて、合唱の完成度を高めていました。なかなか声が安定しない2年生のこの時期の合唱ですが、これまでのクラスでの取り組みに対する自信と合唱に懸ける想いが伝わってくる合唱でした。そして、2年生の完成度にも正直驚きました。1年生にとって、来年の合唱の目指すべきお手本の姿だったと言えます。

中学校での全校行事が初めての1年生は、合唱コンクールそのものがどういうものかよく理解できていなかったかもしれません。そのような中、担任の先生と協力しながら各クラスが一生懸命に練習し、本番を迎えました。歌うこと自体が苦手という人もいるかもしれませんが、投げだすことなく頑張った姿は、次につながる成果と言えます。来年は後輩たちのお手本として、今年の2年生を超える合唱を創り上げてくれることを期待します。

学校では、授業を通じて先生たちから様々なことを学びますが、生徒が学ぶ相手は何も先生たちだけではありません。友人からも学ぶことは多いと思いますし、先輩たちの姿から学ぶことも大きいと思います。今回の合唱コンクールはその最たるものです。また、朝会や委員会活動、部活動でも同様のことが言えますが、今年度は、新型コロナウイルス感染防止のために、全校生徒が集まることや学年間での交流ができませんでした。また、3学年そろって部活動ができない状況もありました。そういう意味では、下級生の学ぶ機会、上級生が成長する機会が減ってしまったと思います。しかし、各クラスで合唱コンクールに向かって曲を仕上げていくそのプロセスが皆さんを成長させる機会であり、本番でお互いの姿を見ることが、学ぶ機会だったといえるのではないのでしょうか。

私は、今から1年後の成長した君たちの姿を見られることを楽しみに待ちます。